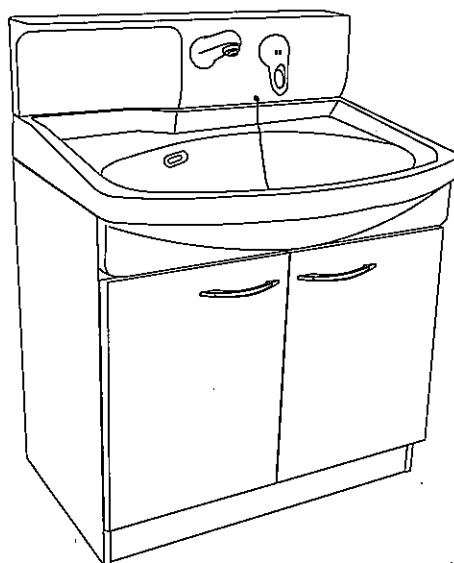
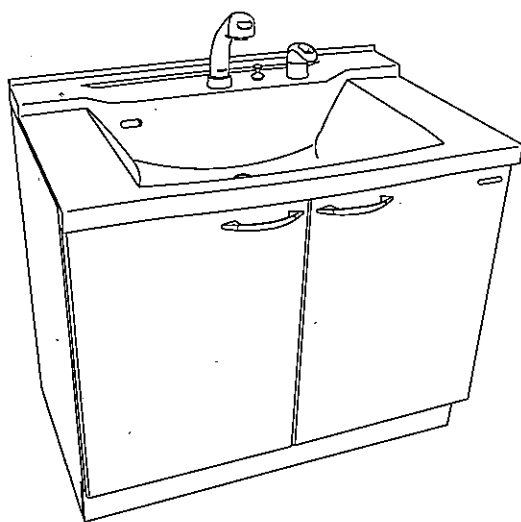


タカラ 木製洗面化粧台

取扱説明書 保証書 (お客様へ)

設置説明書 (設置される方へ)



もくじ

取扱説明書

ページ

- 1. 使用上のご注意 1~2
- 2. 各部の名称 3
- 3. 仕様 3
- 4. 使用方法 4
- 5. お手入れのしかた 5
- 6. 『故障かな?』と思ったら 5~6
- 7. アフターサービス 6

設置説明書

- 1. 設置される方へのお願い 7
- 2. 組立配管図 7
- 3. 設置上のご注意 8~9
- 4. 設置手順 10~13
- 5. 点検及び仕上げ 14
- 6. お願い事項 14

保証書 15

お客様へ このたびは、タカラ 洗面化粧台をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

またお読みになった後は、水栓の取扱説明書と共に、いつでもご覧になれる所に大切に保管してください。

設置される方へ 設置後は、水栓の取扱説明書と共に、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失しないよう納めておいてください。

取扱説明書（お客様へ）

1. 使用上のご注意

必ずお守りください。（安全上のご注意）

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので、必ずお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 組込まれる機器・器具などについては、それぞれの取扱説明書及び本体に表示されている事項をお守りください。
- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



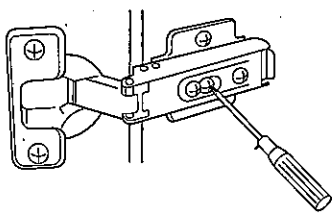
このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 注意

- 扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のネジを締め直してください。



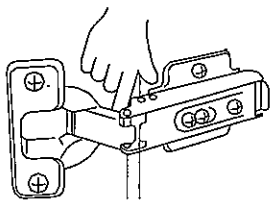
- 扉が落ちて、ケガをするおそれがあります。

- 扉や取っ手にぶらさがったり、扉を大きく開けすぎないでください。



- 扉や取っ手
がはずれて、
ケガをする
おそれがあり
ます。

- 扉開閉時に丁番にさわらないでください。



- 丁番に指をはさんでケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

- 固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしないでください。



- 水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

- 組込まれる機器、水栓器具などについては、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項をお守りください。



- 使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

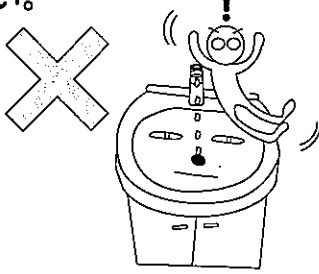
- スライド扉・引出を開閉する時は取手を持ち、横方向に力をかけないでください。



- スライド扉・引出の変形やレールが脱輪するおそれがあります。

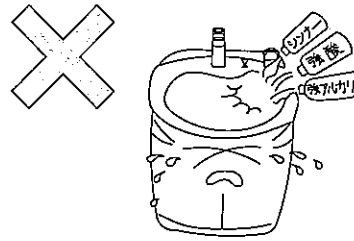
快適にご使用いただくためにお守りください。

- カウンターやボウルの上に乗らないでください。



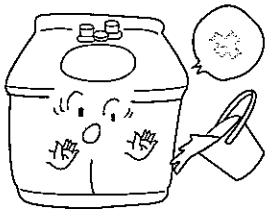
- すべって落ちたり、キャビネットが転倒してケガをするおそれがあります。

- 強い酸性やアルカリ性の薬品や、シンナー等の溶剤をボウルに流さないでください。



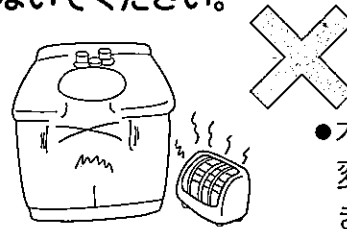
- ボウル表面が変色したり、排水パイプが損傷して、水漏れ事故が発生するおそれがあります。

- キャビネットに湯水をかけないでください。



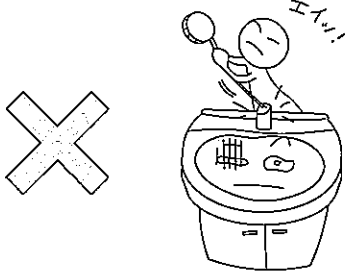
- 変形や変質のおそれがあります。

- キャビネットの近くにストーブ等を近づけないでください。



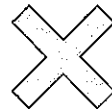
- 木製のため、ソリや変色の原因になります。

- シャワーホースを無理にひっぱったり曲げたりしないでください。

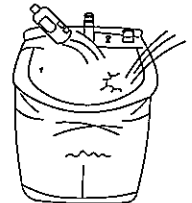


- ホースを破損する原因になります。

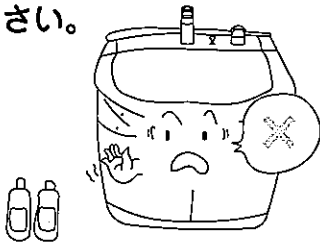
- カウンターやボウルやキャビネットに硬い物、鋭利な物を当てたり落としたりしないでください。ホーローボウルに傷がついた場合、ホーロー専用の補修液で補修してください。



- 傷、カケ等が発生するおそれがあります。

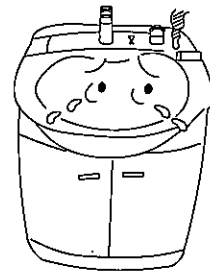


- 化粧品（マニキュア除光液、毛染め液、ジェル系クレンジング剤など）、強い酸性やアルカリ性の薬品、シンナー等の溶剤をカウンター、ボウル、キャビネットや扉にこぼさないでください。こぼしたらすぐふき取ってください。



- 表面の光沢を損ねたり、溶かしたりするおそれがあります。

- カウンターやボウルの上に火の付いたタバコをおかないでください。



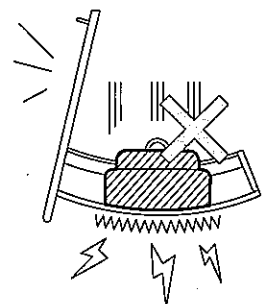
- こげあとがつくおそれがあります。

- スライド扉、引出内部には過度に重い物を収納しないでください。

- スライド扉、引出が、こわれる原因になります。収納物の重量は下表を参考にしてください。

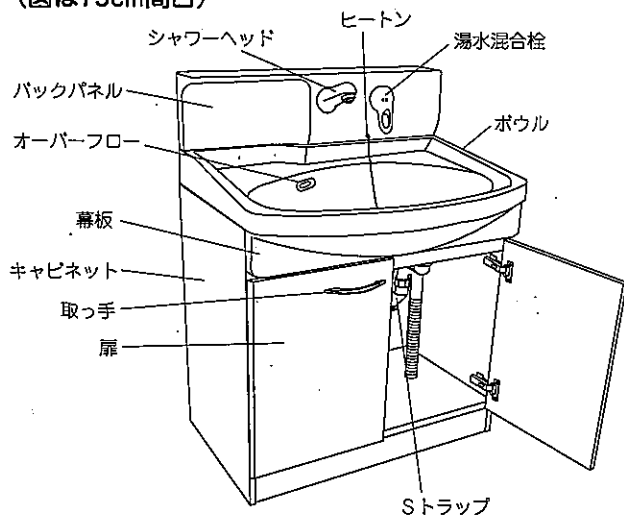
部 位	引出	2段スライド扉(上段)	2段スライド扉(下段)
最大収納重量	5kg	5kg	10kg

- ヘルスメーター収納タイプの収納部は高さ10cmのものまで収納できます。(カウンター高さ80cmの場合は高さ15cmまでとなります。)

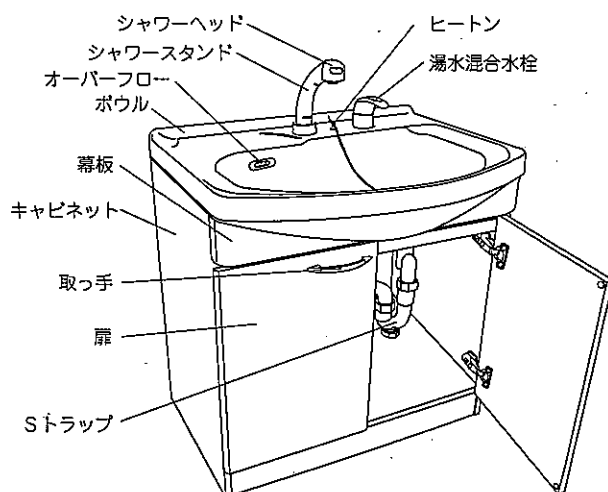


2. 各部の名称

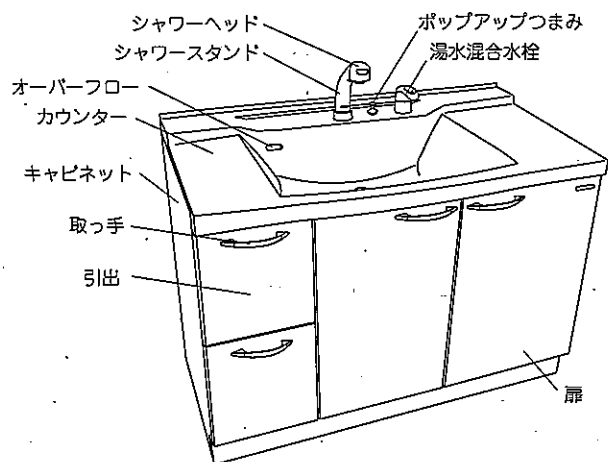
扉タイプ(ホーローボウル壁出水栓タイプ)
(図は75cm間口)



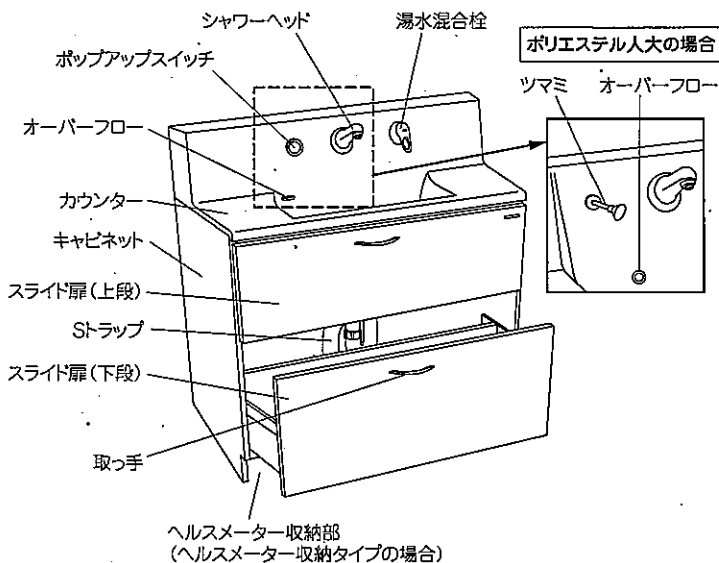
扉タイプ(ホーローボウルデッキ水栓タイプ)
(図は75cm間口)



扉(引出付)タイプ(アクリル人大フラットカウンタータイプ)
(図は105cm間口)



2段スライドタイプ(アクリル人大ハイバックカウンタータイプ)
(図は90cm間口)



3. 仕様

()は、カウンター高さ80cmの場合

	アクリル人大 フラットカウンタータイプ	アクリル人大 ハイバックカウンタータイプ	ポリエステル人大 ハイバックカウンタータイプ	ホーローボウル デッキ水栓タイプ	ホーローボウル 壁出水栓タイプ
製品寸法 間口×奥行×高さ	1200/1050/900/750 x615x791(841)	1200/1050/900/750 x615x979(1029)	900/750 x600x979(1029)	750x600x770	750x600x790
ボウル容量	15L		14L	21L	20L
バックパネル寸法	—				750x105x190
バックパネル	—				合成樹脂
ボウル	アクリル人造大理石 [表面ツヤあり]		変性ポリエステル人造大理石 [表面ツヤなし]	鋼板ホーロー	
排水金具	ヘアキャッチャー付ポップアップ式排水栓			ヘアキャッチャー付ゴム式排水栓	
排水トラップ	Sトラップ				
キャビネット・扉	木製				

4. 使用方法

(1) 水栓の使いかた

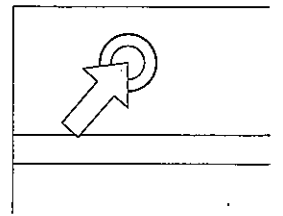
- 水栓の取扱説明書にしたがってご使用ください。

(2) 水栓の凍結予防のしかた

- 凍結のおそれのある場合、水栓の取扱説明書にしたがって、水抜き作業を行い、水栓凍結を予防してください。(寒冷地仕様の場合)

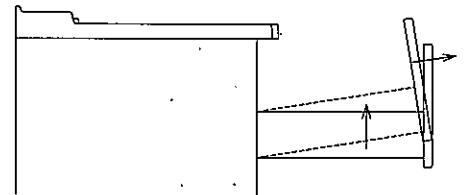
(3) アクリル人大ハイバックカウンタータイプのポップアップ排水栓の使いかた

- パネルに取り付けてあるスイッチを押してください。
開栓と閉栓を繰り返します。



(4) 引出・スライド扉のはずしかた

- 引出をいっぱい引き出した後、上へ持ち上げながら引き抜いてください。



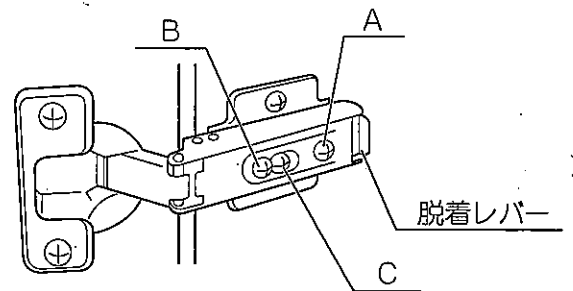
(5) 扉の調整のしかた ※調整には⊕ドライバーが必要です。

扉がガタついたり、扉に段違いが発生した場合は、下記の要領にしたがって締め直しまたは調整を行ってください。

●丁番の調整のしかた

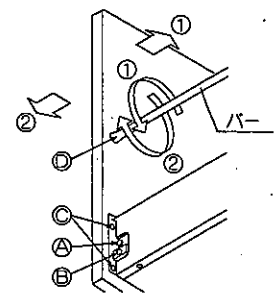
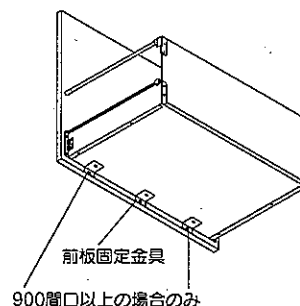
- 扉ガタつきの修正
Aのネジをしっかりと締め込んでください。
- 扉の前後方向の調整
Aのネジを緩めることにより扉が前後に動きます。
- 扉の左右方向(段違い)の調整
Bのネジの締め込み代で調整してください。
- 扉の上下方向の調整
Cのネジの緩めることにより扉が上下に動きます。

注) 調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。



(6) スライド扉の調整のしかた

※2段スライド扉(下段)の場合は、底板裏面より扉を固定しています。
扉の上下・左右調整する場合はネジをゆるめてください。
調整後、ネジを締め直してください。



- スライド扉の前後方向(角度)の調整
左右のDのキャップを回して扉の角度調整を行ってください。
- スライド扉の上下方向の調整
Aのネジをゆるめた後、Bのネジを回して上下を調整し、再度Aのネジを締め直してください。
- スライド扉の左右方向の調整
Cのネジをゆるめて左右を調整し、再度ネジを締め直してください。

※2段スライド扉(上段)は、前後方向(角度)の調整は行えません。

5. お手入れのしかた

いつまでも美しく快適にご使用いただくためには日頃のお手入れが大切です。
なお安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋の着用をおすすめします。

使用してよいもの	使用すると損傷を与えるもの
● やわらかい布 ● スポンジ ● 中性洗剤 	● タワシ・金属タワシ・クレンザー ● 研磨材入りナイロンタワシ・磨き粉 ● ベンジン・アセトン・シンナー・アルコール ● 塩酸・トイレ用洗剤・漂白剤 ● 有機溶剤入りの洗剤・殺菌消毒剤 

カウンター、キャビネット、扉・引出のお手入れ

- 水を含ませた布またはスポンジでふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。
- 落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れをおとしてください。
- その後、水を含ませた布またはスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

水栓のお手入れ

- 水栓の取扱説明書にしたがってお手入れしてください。

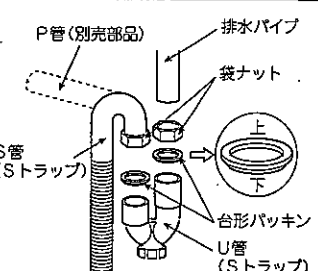
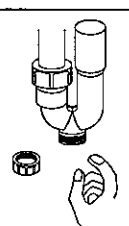
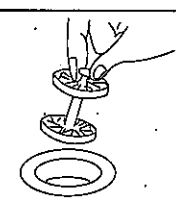
カウンター補修方法

- アクリル人大カウンタータイプの場合
カウンター表面に傷がついた場合は、下記方法により補修できます。
 1. すり傷の場合
艶出し用コンパウンドで研磨してください。
 2. 深い傷の場合
＃600のサンドペーパーで傷を研磨してください。その後、＃2000で表面を研磨し、最後に艶出し用コンパウンドで磨き上げてください。
- ポリエステル人大カウンタータイプの場合
 1. 汚れが落としにくい場合
水を含ませたナイロンたわしで円を描くようにまんべんなくみがいてください。それでも落ちにくい場合は、粒子の細かいクリームクレンザー（液体）を併用してみがいてください。
 2. すり傷の場合
クレンザーや目の細かいサンドペーパー（400番程度）で傷がなくなるまでみがいた後、ナイロンたわしで仕上げてください。
 3. 深い傷の場合
目の粗いサンドペーパー（240番程度）でみがいた後、傷が浅い場合と同じ手順で仕上げてください。

6. 「故障かな？」と思ったら

アフターサービスをお申しつけになる前に、つぎの点をお調べください。

現象	確認事項	処置
水栓からの吐水量が少ない。（出ない）	止水栓が閉じられていますか。	止水栓を開いてください。
	水栓に異常はないですが。	水栓の取扱説明書で確認して、その箇所の点検修理を依頼してください。

現 象	確 認 事 項	処 置
水栓から高温、低温の一方しか湯水が出ない。	止水栓が閉じられていませんか。	止水栓を開いてください。
	給水、給湯源（給湯器）は正常に作動していますか。	異常があれば、その箇所の点検修理を依頼してください。
排水に時間がかかりすぎる。	Sトラップの中に何かつまっていますか。	SトラップのU管をはずして、つまった物を取り除いてください。トラップ内には水が溜まっていますので、管をはずす際はバケツ等で水を受けてください。 
		Sトラップのキャップをはずして、つまった物を取り除いてください。トラップ内には水が溜まっていますので、栓をはずす際はバケツ等で水を受けてください。 
	排水口のヘアーキャッチャー部分にゴミや髪の毛がたまっていますか。	ヘアーキャッチャー部をはずし、たまったゴミや髪の毛を取り除いてください。 
扉が傾いたり、扉がガタついたりする。	丁番の固定ネジがゆるんだり、丁番が変形したりしていませんか。	ネジがゆるんでいる場合は、締め直してください。それでも直らない場合や丁番が変形している場合は、点検修理を依頼してください。

以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときはお買い求めの販売店または下記フリーダイヤルへご連絡ください。

7. アフターサービス

タカラ 洗面化粧台のアフターサービスは、お買い求めの販売店へお申し付けください。また、おわかりにならないときは、下記フリーダイヤルへご連絡ください。



0120-557-910

受付時間 9:00~18:00（土日祝、夏期・年末年始休業日を除く）

アフターサービスをお申しつけの際は、つぎのことをお知らせください。

- (1) 製品名 洗面化粧台
- (2) 機種名（検査合格証に記載がある場合）
- (3) 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- (4) ご住所・ご氏名・電話番号・道順

●修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

設置説明書 (設置される方へ)

1. 設置される方へのお願い

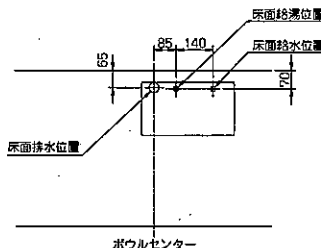
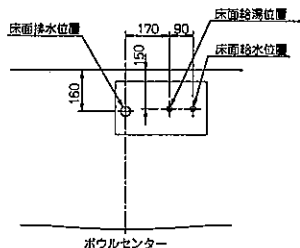
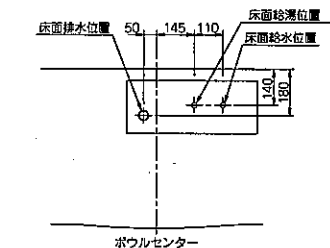
- この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。
- 給排水工事は、必ず水道局指定工事店に依頼してください。
- 本商品の設置が終了しましても、他の作業が残っている場合は万一の場合にそなえ、商品に布等をかぶせて保護してください。
- 設置後は、水栓の取扱説明書とこの説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失しないように納めておいてください。
- 梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

2. 組立配管図

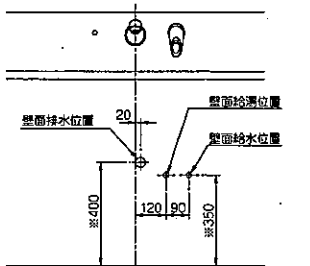
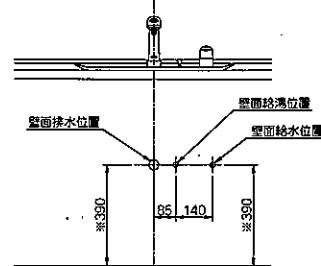
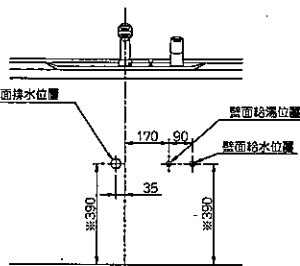
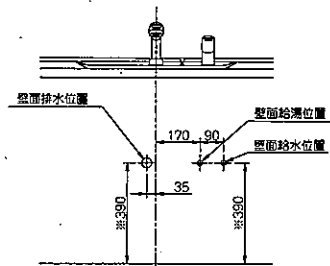
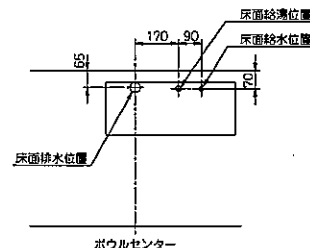
注) 図はカウンター高さ75cmの場合の寸法です。
 カウンター高さが80cmの場合、※部の寸法は+50mmになります。
 [] は、フラットカウンターの場合を示します。
 < > は、ハイバックカウンターの場合を示します。

●給排水位置

アクリル人大カウンタータイプ



ポリエステル人大カウンタータイプ

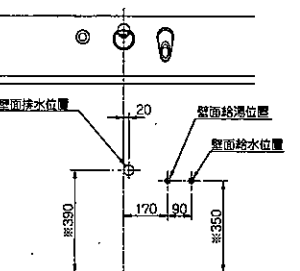
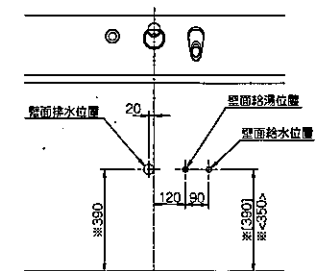
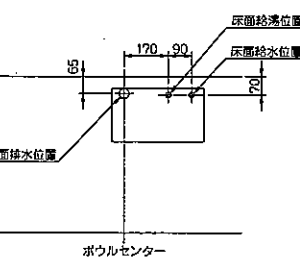
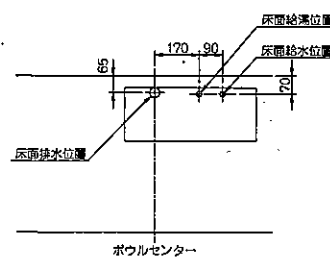


アクリル人大フラットカウンター
 間口90~120cmの場合

アクリル人大フラットカウンター
 間口75cmの場合

アクリル人大フラットカウンター
 2段スライドタイプ 間口75cm
 ヘルスメーター収納タイプ 間口75cm

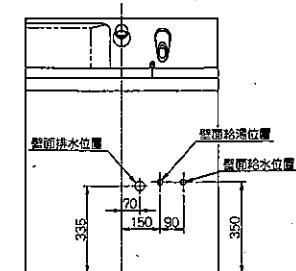
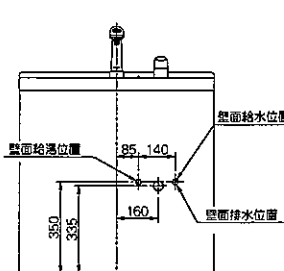
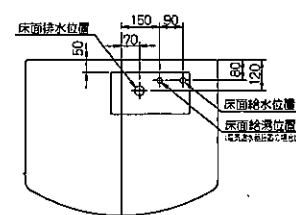
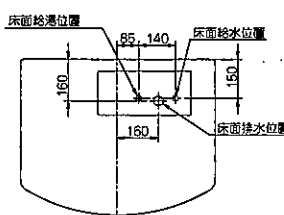
ポリエステル人大
 ハイバックカウンターの場合



アクリル人大ハイバックカウンター
 間口90~120cm
 アクリル人大フラットカウンター
 2段スライドタイプ 間口90cm
 ヘルスメーター収納タイプ 間口90cm

アクリル人大ハイバックカウンター
 間口75cm

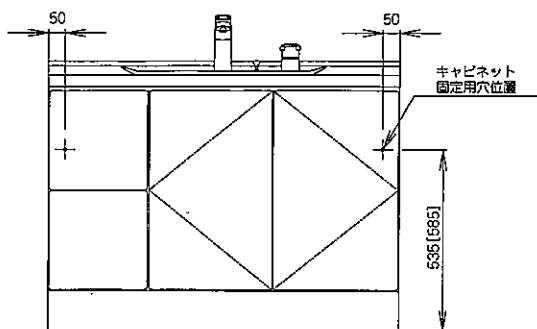
ホーローボウルタイプ



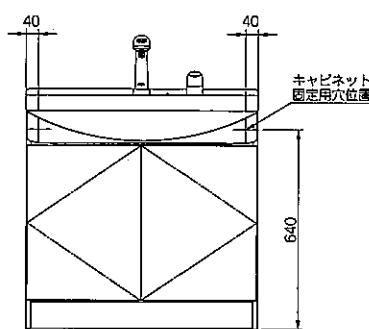
ホーローボウルデッキ水栓タイプ
 間口75cmの場合

ホーローボウル壁出水栓タイプ
 間口75cmの場合

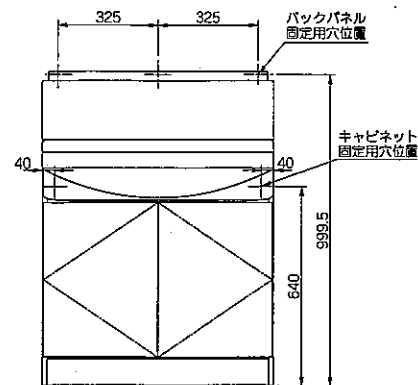
●キャビネット壁面固定位置



(ボウル一体型人大カウンター間口75~120cmの場合)



(ホーローボウルデッキ水栓タイプ間口75cmの場合)



(ホーローボウル壁出水栓タイプ間口75cmの場合)

注) []内の寸法は、カウンター高さ80cmの場合

3. 設置上のご注意

設置前のご確認

- 取付用栈木が、壁面の所定の位置に設置されているか確認してください。(キャビネット壁面固定位置参照)
- 屋内側の給排水管が所定の位置に設置されているか確認してください。(組立配管図参照)

必ずお守りください。(安全上のご注意)

- 設置作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客さまにお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後お客さまにお渡しください。

⚠ 注意

- キャビネットの壁への固定は、壁の構造を確認して設置手順にしたがって正しく行ってください。



- 固定方法を誤ると使用中にキャビネットが転倒したり、位置がずれて給排水管から水漏れするおそれがあります。

- 設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認してください。



- 扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

- 排水パイプの接続は、設置手順にしたがって正しく行ってください。



- 接続が不備だと使用中に水漏れが発生し、キャビネットの中や床を汚すおそれがあります。

- 排水パイプはU字型に曲げたり、折り曲げて取り付けないでください。



- 使用中に排水パイプがつまり、ボウルから水があふれて、床を汚すおそれがあります。

- 排水パイプと排水管との接続は、設置手順にしたがってスキマのないように正しく行ってください。



- 接続部にスキマがあると、不快な臭いや、カビの発生原因になることがあります。

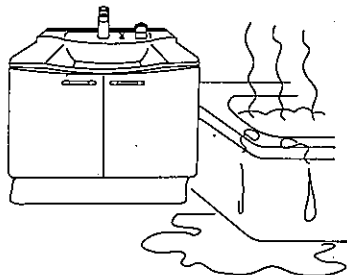
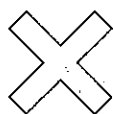
- 組込まれる電気機器・水栓などについてはそれぞれの設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。



- 設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。

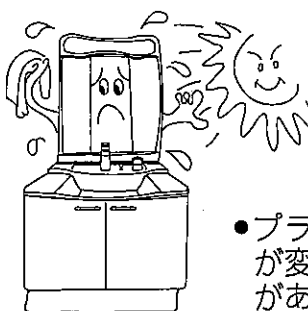
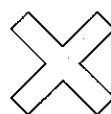
快適にご使用いただくためにお守りください。

- 浴室内等の湿気の多い場所への設置は避けてください。



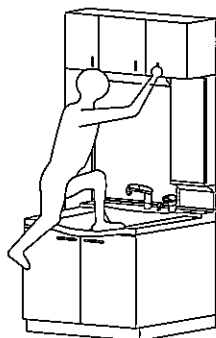
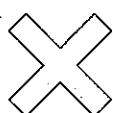
- 製品が早く傷むおそれがあります。

- 直射日光や殺菌灯が当たる場所、高温になる場所への設置は避けてください。



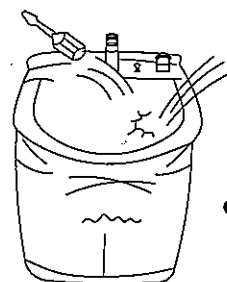
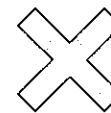
- プラスチック部品が変色するおそれがあります。

- 設置する時にボウルに乗らないでください。



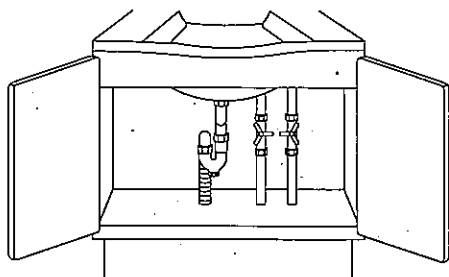
- ボウルに傷がつくおそれがあります。

- 工具類等をボウル・キャビネットに落としたり当てたりしないでください。



- 傷がついたり欠けたりするおそれがあります。

- 水栓の水量の調節及び器具の点検を容易にするため必ず止水栓をご使用ください。



4. 設置手順

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。※印はハイバックカウンターのみです。

- (1) 付属部品の確認 → (2) ボウルとバックパネルの接続 → (3) 水栓の取付 →
 (4) 排水部品の取付 → ※ (5) カウンターの固定 → (6) ベースキャビネットの設置 →
 (7) 給排水管の接続 → (8) コーキング処理 → (9)(10)(11) 扉・引出・スライド扉の調整

(1) 付属部品の確認

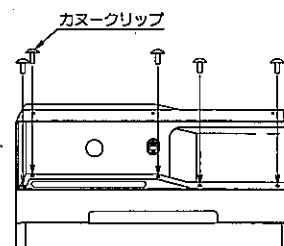
- 付属部品が揃っているか確認してください。
- ※ 本書では「ベースキャビネット」の付属部品のみ記載しています。
- 他の商品については、それぞれに付属している設置説明書に基づいて確認してください。

ベースキャビネット	小物セット	取扱・設置説明書	1部
		トラスタッピンネジ4.5×60	2本
		トラスタッピンネジ4×25	3本
		トラスタッピンネジ4×12	4本
		トラスタッピンネジ3.5×14	6本
		カヌークリップ	5個
	同梱部品	SトラップまたはS直管トラップ	1個
		排水管アダプターまたは、Y防臭キャップ	1個
		ポップアップつまみ (ボウル一体人大フラットカウンターの場合)	1個
		テールピース (ボウル一体人大フラットカウンターの場合) ※2段スライドタイプ・ヘルスメーター収納タイプの 場合はバック排水管となります	1個
		ケレップ (ボウル一体人大カウンターの場合)	1個
		バック排水管 (ボウル一体人大ハイバックカウンターの場合)	1個

(2) ボウルとバックパネルの接続

(ホーローボウル壁出水栓タイプの場合のみ)

- ① ボウルの上にバックパネルを置き、付属のカヌークリップを使用してバックパネルを固定してください。カヌークリップは奥までしっかり差し込んでください。



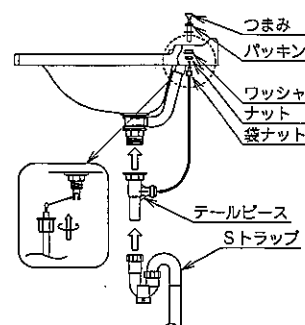
(3) 水栓の取付

水栓付属の説明書にしたがって水栓をカウンターに取付けてください。

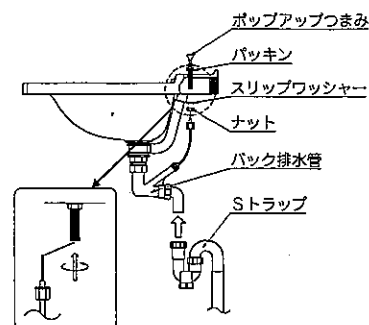
(4) 排水部品の取付

～アクリル人大フラットカウンタータイプの場合～

- 扉タイプ・扉(引出付)タイプの場合
 - ① ポップアップつまみとテールピースを取付けてください。
 - ② つまみとテールピースを連結してください。
 - ③ Sトラップを取付けてください。
- 2段スライドタイプ・ヘルスメーター収納タイプの場合
 - ① ポップアップつまみとバック排水管を取付けてください。
 - ② つまみとバック排水管を連結してください。
 - ③ Sトラップを取付けてください。



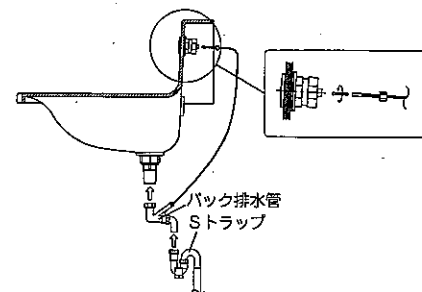
扉タイプ・扉(引出付)タイプの場合



2段スライドタイプの場合

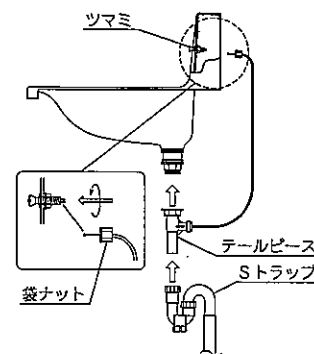
～アクリル人大ハイバックカウンタータイプの場合～

- ①バック排水管を取付けてください。
- ②右図にしたがってポップアップ排水栓のケーブルをスイッチに接続してください。
- ③Sトラップを取付けてください。



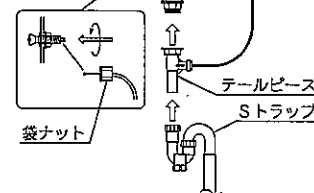
～ポリエステル人大ハイバックカウンタータイプの場合～

- ①テールピースを取付けてください。
- ②ツマミとテールピースを連結してください。
- ③Sトラップを取付けてください。



～ホーローボウル壁出水栓タイプの場合～

- ①バックパネルのヒートンにゴム栓を取付けてください。
- ②Sトラップを取付けてください。

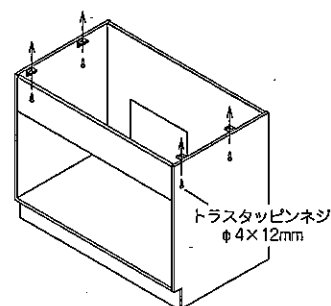


(5) カウンターの固定

※ハイバックカウンタータイプの場合のみ

キャビネット両側の固定金具を介してトラスタッピンネジ (4×12) 4本で固定してください。

ご注意：キャビネットとカウンターにすき間が発生する場合は、固定金具の上下位置を調整して取付けてください。



(6) ベースキャビネットの設置

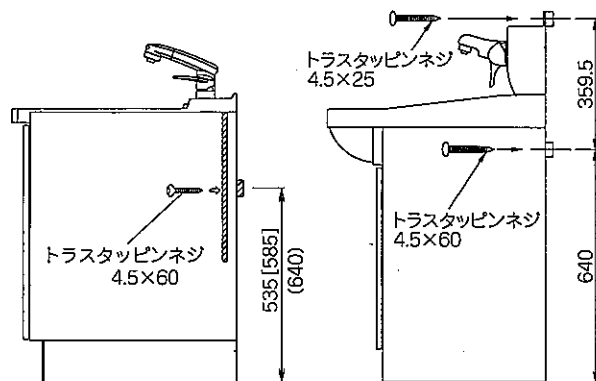
- ①点検口蓋を止めているネジをはずして、底板点検口蓋をはずしてください。

ご注意：引出タイプの場合、引出をはずして作業してください。「取扱説明書4. (4) 引出のはずしかた (P4) 参照」

- ②壁面配管の場合、現場の配管位置に合わせて、必要な穴（給水管、給湯管、排水管用）を後板に加工してください。
- ③キャビネットを所定の位置に設置してください。

ご注意：床が水平でない場合には、すき間に詰め物をしてガタつきのないように水平に設置してください。

- ④壁面にネジ打ちしてください。



ボウル型人大カウンター、
ホーローボウルデッキ水栓タイプの場合

ホーローボウル
壁出水栓タイプの場合

・注) ()内の寸法は、ホーローボウルタイプの場合
[]内の寸法は、カウンター高さ80cmの場合

(7) 給排水管の接続

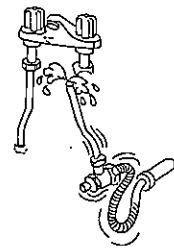
〈給排水の接続の前作業〉

床面配管の場合、現場の配管位置に合わせて、必要な穴（給水管・給湯管・排水管用）を底板点検口蓋に加工してください。

〈給水管・給湯管の接続〉

- ①前作業であけた穴を給水管・給湯管に通して、止水栓を給水管・給湯管に接続してください。
- ②水栓付属の説明書にしたがって、水栓と止水栓を接続してください。

- ご注意：●止水栓と室内側給水給湯管の接続にフレキシブル管を使用しないでください。水圧により、接続部がはずれるおそれがあります。
- パッキンの取付け位置を間違えたり、ねじれた状態で接続しないでください。水漏れの原因になります。
- 金属製のナット類は充分締め付けてください。締め付け不良の場合、水漏れの原因になります。

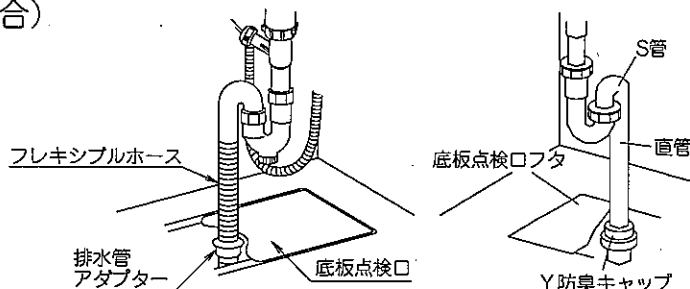


〈排水管の接続〉

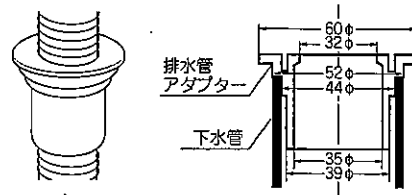
作業前に床排水か壁排水かを確認してください。壁排水の場合はP管（別売部品）が必要です。

●床排水の場合（フレキシブルホースタイプの場合）

- ①底板点検口蓋穴に、トラップのフレキシブルホース部を通してください。
- ②フレキシブルホースの先端に排水管アダプターを通し、排水管に接続してください。
- ③底板点検口蓋を底板に取付けてください。



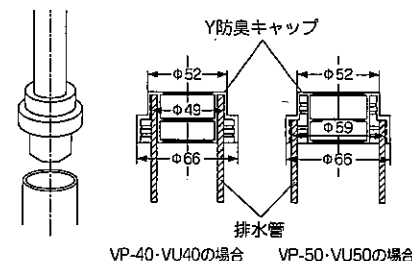
- ご注意：●排水管アダプターは、内径40、44、51の3種類の排水管に接続できます。すき間ができると臭気や湿気が漏れるおそれがありますので、完全にシールしてください。
- U管・P管の袋ナットは、パイプレンチ等を使用して締め過ぎないでください。袋ナットが破損するおそれがあります。
- U管接続用の台形パッキンは、向きを逆にしたり、ゆがんだ状態で締め付けしないでください。水漏れの原因になります。



●床排水の場合（直管タイプの場合）

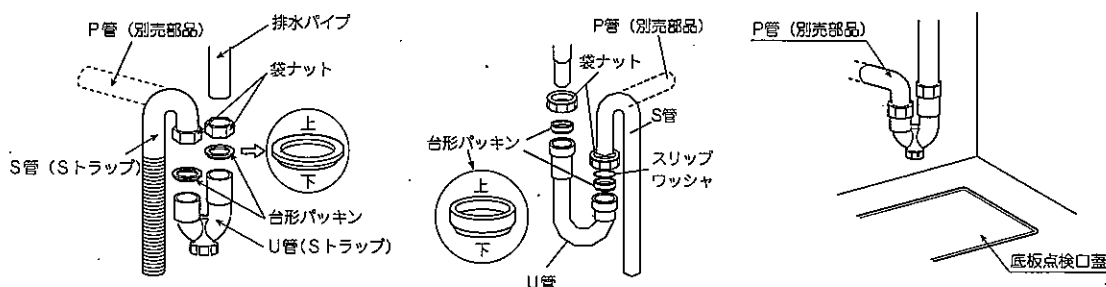
- ①排水管設置位置を確認の上、底板点検口フタを切り欠いてS管直管部を通してください。
- ②S管直管部の先端にY防臭キャップを通し、排水管に接続してください。（下図参照）
- ③S管直管部に通した底板点検口フタを、底板にセットしてください。

- ご注意：●Y防臭キャップは、VP40、VU40、VP50、VU50の4種類の排水管に接続できます。
- Y防臭キャップは、排水管にしっかり差し込んでください。スキマが生じると臭気や湿気が漏れるおそれがあります。
- 袋ナットは、パイプレンチ等を使用して締め過ぎないでください。袋ナットが破損する恐れがあります。
- 台形パッキンは、向きや取付位置を間違えたり、ねじれた状態で接続しないでください。水漏れの原因になります。



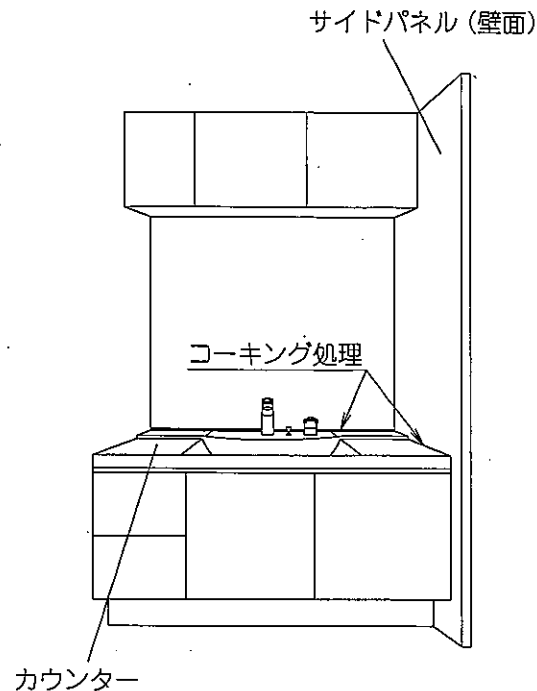
●壁排水の場合

- ①後板にあけた穴に、P管を通してください。
 - ②建物側の排水管にP管を差し込んだ後、P管とSトラップのU管を確実に接続してください。
 - ③P管と建物側の排水管を水漏れのないように注意して接続してください。
 - ④底板点検口蓋を底板に取付けてください。
- 凍結防止・結露防止の必要な場合は、配管に保温材を巻く等の保温処理を施してください。



(8) コーキング処理

- 本設置に続いてミラーキャビネット、吊戸棚等の設置も完了しましたら、外観向上および防水処理のため、カウンター・ミラー・サイドパネル間の目地をシリコン剤(白)でコーキング処理を行ってください。



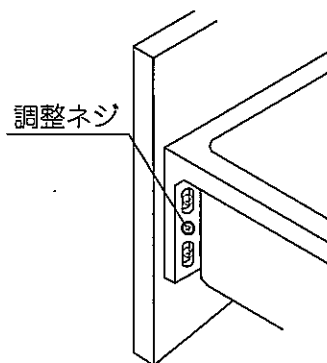
(9) 扉の調整

- 扉に段違いや丁番のゆるみによるガタツキがないことを確認してください。
不備がある場合は、「取扱説明書4. (5) 扉の調整のしかた (P4)」にしたがって調整してください。

(10) 引出 (樹脂製引出) の調整

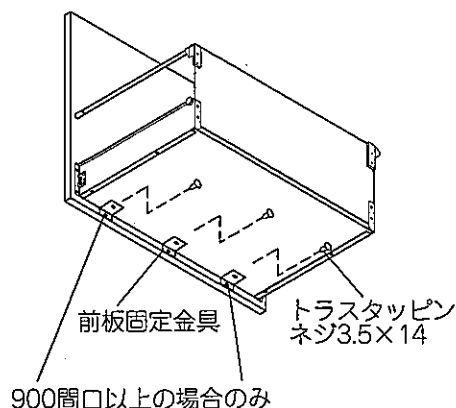
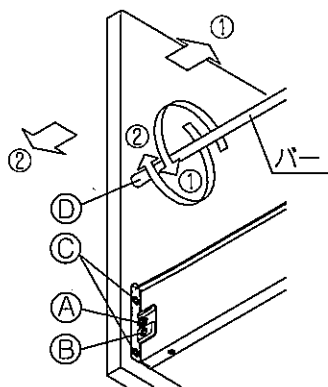
- 引出表板裏面の樹脂引出部に露出しているネジを緩めると、引出表板が調節可能になります。

ご注意：調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。



(11) スライド扉の調整

- スライド扉の左右方向の調整
Cのネジをゆるめて左右を調整し、再度ネジを締め直してください。
- スライド扉の上下方向の調整
Aのネジをゆるめた後、Bのネジを回して上下を調整し、再度Aのネジを締め直してください。
- スライド扉の前後方向 (角度) の調整
左右のDのキャップを回して扉の角度調整を行ってください。
- 仕上げ
調整後、60間口以上については前板固定金具と前板をトラスタッピンネジで固定してください。
ただし、900間口以上の引出は、前板固定金具を3つ固定してください。



5. 点検及び仕上げ

点検

- キャビネット本体と床の間でガタツキがないかを確認してください。
- 取付部材がしっかりと固定されているかを確認してください。
- 水栓の取扱説明書にしたがって、湯水混合栓の整流網をはずして水を流し、配管内のゴミや油を十分洗い流したあと、整流網を元通りに取付けてください。
- 配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- シャワーホースがスムーズに出し入れできることを確認してください。
- ポップアップを動かし、ポップアップ排水栓が作動することを確認してください。
- 電気温水器については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順にしたがって正常に作動することを確認してください。

仕上げ

設置時に商品が汚れた場合は、水を含ませた布またはスポンジでふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れをおとしてください。その後、水を含ませた布またはスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。



6. お願い事項

【1.商品の養生】

すべての作業が完了しましたら、キャビネットを保護養生してください。

【2.取扱説明書の保管・引渡し】

洗面化粧台および組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて、ベースキャビネットに収納してお引き渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

【3.梱包材その他部材の処理】

不要部材を処分する場合は、必ず公的許可を受けている業者に依頼してください。

保証書

お名前		品 名	洗面ユニット
お客様	〒 ご住所	保証期間	お買い上げ日から 1年間 (水栓金具：2年間)
	TEL ()		
販売店			
	TEL ()		
お買上日	年 月 日		

- 本保証書は、当社の洗面ユニットで使用する製品及びそれに付帯する部品を対象とします。
- 取扱説明書に保証書が添付されている関連商品については、各々の保証書記載内容によります。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店又はP6に記載のフリーダイヤルに出張修理をご依頼のうえ、修理に際して、本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店又はP6に記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 一般家庭以外（例えば車両、船舶への搭載、業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
 - (2) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (3) 鉄分などによるもらいサビ、及び水滴の放置などによる汚れの付着、損傷
 - (4) メーカーが定める設置説明書に基づかない設置、専門業者以外による移動、分解等に起因する不具合
 - (5) お取付後の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (6) 建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
 - (7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性空気環境に起因する不具合
 - (8) ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
 - (9) 火災、爆発事故、落雷、地震、洪水、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による不具合
 - (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
 - (11) 異常電圧、指定外の使用電圧（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - (12) 水栓金具において、砂やゴミ等の異物流入による不具合
 - (13) 温泉水、井戸水などにおいて水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を供給したことに起因する不具合
 - (14) 凍結に起因する不具合
 - (15) 本書の提示がない場合
 - (16) 本書にお客様名、販売店名、お買上げ日の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (17) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又はP6に記載のフリーダイヤルへお問い合わせください。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

TEL 06-6962-1531